

大柴拓<sup>guitar</sup>  
磯部舞子<sup>violin</sup>  
岡部洋一<sup>percussion</sup>

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 01月09日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

※90分 1ステージのみ

MC=3700円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



磯部舞子

5歳の時「ばいよりん」という語感に惹かれ「ヴァイオリン」を習うことを決意する。これまで、伊藤多喜雄、早川義夫、中川五郎、小山卓治、林正樹、大柴拓、ハシケン、メトロファルス、チャラン・ポ・ランタン、松尾スズキ(演劇)など、様々なフィールドでライブ、レコーディングをしながら日々を過ごしている。ペチコの愛称でも親しまれ、都内を拠点に全国で活動中。辻楽師を目指している。



大柴拓

ギタリスト・作曲家・グラフィックデザイナー。1985年、神奈川県平塚市出身。同県立弥栄東高校(現:弥栄高校)音楽コースを経て、東京音楽大学(クラシックギター専攻第1期生)を卒業。2007年に最初の主宰バンド『Trio Mono』を結成。以降、『Citrontriple』、『キンテートモダン東京』、『IROSEPTET』、『大柴拓カルテット』の主宰をはじめ、他にも常に数多くの企画を抱え、極めて精力的に活動。2018年3月には『大柴拓 Ensemble para furores』を立ち上げ、演奏家に役者も加えた全11人の大編成で新作”音楽劇”の製作・初演を超満員にて成功させる。さらに2017年には自身初となるデザイン個展も開催するなど、音楽だけに留まらない現在最も活動的な若手アーティストの1人として注目されている。

公式 URL <http://www.taku-oshiba.com>



岡部洋一

1962年東京都出身。高校時代からパーカッションの演奏を始める。早稲田大学在学中にラテン音楽やロックのサークルに出入りし、プロとしての活動を開始。歌謡曲のバックや、ブラジル音楽、ジャズなど幅広く演奏する。現在はトランスロックバンド「ROVO」や、プログレッシブジャズロックバンド「ボンデー・フルーツ」、16人編成のプラスロックバンド「THE THRILL」のメンバー。2001年、ソロアルバム「SATIATION」をまぼろしの世界からリリース。2006年には、ソロライブアルバム「感覚の地平線」をリリース。主な共演アーティストは溝口肇、佐藤允彦、鈴木良雄、向井滋春、勝井祐二、鬼怒無月、芳垣安洋、小野リサ、Baden Powell、João Donato、ホッピー神山、ショーロ・クラブ、村田陽一、村松健、遠藤律子、中村善郎、福岡ユタカ、酒井俊、中島啓江、アキコ・グレース、木之下真市、菅野よう子、今堀恒雄、納浩一、柏木広樹、木住野佳子、中西敏博、朝崎郁恵、Saigenji、鈴木亜紀、リアナ・エレロ、デビッド・サンボーン、等々。